

# 腎臓内科

## 指導医からのメッセージ

内科医として診療を行っていると患者さんには診療領域以外のことも質問されることがしばしばあります。このようなときに「それは自分の科の範囲ではないから〇〇科を受診してください。」で済ませるような医師は皆さんの目指すところではないと思います。当院の後期研修プログラムには専門医、指導医を有した多数の専門科があります。また医師同士の垣根も低く気軽に相談できる雰囲気があります。3年間学べば必然的に各領域の基本的なことが身につき患者さんからの質問にも自然と対応できるようになると思います。専門があり内科医としての基本もあるような土台がしっかりした医師の育成を応援します。

## 腎臓内科のPRポイント

大森赤十字病院は344床の総合病院です。内科系は各臓器別に分かれ、ほぼ全ての臓器を網羅しています。腎高血圧内科は、腎不全の管理、腎炎、ネフローゼの治療、電解質・酸塩基平衡異常の是正、血圧の管理、透析や血漿交換療法を担当しているためこれらの各臓器別の内科と密接にリンクしています。このため内科医として全身を診療する機会に恵まれています。また高齢化社会の著しい我が国において何らかの腎臓疾患を有している患者さんは多数います。どの内科系を将来専攻するにしても必ず関わらなければいけないのが腎臓病です。当科をローテーションすることにより、腎臓病に対する考え方や初期治療、気をつけなければならないポイント（たとえば特別に注意する薬剤や各科にまたがる疾患、ペースメーカーを入れている、甲状腺機能低下がある、腎臓病がある患者さんが実はアミロイドーシスであったなど）を学び、患者さんを俯瞰的に診療する考え方を身につけることができるようになります。

ほかに初期診療を担う市中病院として、すでに診断がついている疾患が少ないため診断能力が試されます。検査の機器は十分にそろっており各科に指導医も多数在籍しています。鑑別診断を丁寧に行ない確定診断に至るまでのプロセスを経験して内科医として確実に成長することができます。意欲のある皆さんの応募を多数お待ちしております。